

解答

□

問一

① せんとく

② 秘密

③ 独（リ）言

④ 傷

問二

Ⅰ ア 2 ウ 3 イ 4 エ

問三

休む（なんて）

問四

ウ

問五

木島さんが美乃里を気づかって、お風呂に入ってくれるのだと思ったから。

問六

木島さんも実がいけないことをつまらないと思っていると知り、自分と同じだと思っておかしかったから。

問七

B 実くんが休んでいていないこと。

問八

F 須賀くんに好意を持っていることを伝えられずにいること。

木島さんとお風呂で二人きりで話したことがきっかけで、神経質でこわいと思っていた木島さんにもやさしさを人を大切に思う心があることを知り、親しみを感じるようになった。

□

問一

① 画一

② 将来

③ 測定

④ 教養

問二

Ⅰ ア 2 ウ 3 オ 4 イ

問三

イ、エ

問四

個性を失って特徴がなく、味気のない、同じような感覚しかもてない人間。

問五

ア

問六

日本固有の民族文化を教育することが減ってしまうと、日本人が民族とはいえない状態になること。

問七

E 言葉（言語）

F 食

解説

□

問八

美乃里は、木島さんとお風呂に入って話をしたことで、「木島さんもおなじことを考えていたんだ」「木島さんは、ほんとうはどなっている相手のこともきらいじゃないんだ」と気づき、木島さんに心のうちを聞いてもらうことになりました。そして、「木島さんの背中を流してあげたい気持ちだった。木島さんの横にいきたいと思った。男湯と女湯のしきりなんてもうなくなっているような気がした」といった表現から、木島さんに親しみを感ずるようになったことを読み取ることができます。

□

問六

線Dの前の部分で、筆者は「文化を失った民族は存在価値がなくなる」「日本人は文化を失い、民族とはいえない状態になってしまいます」と述べています。続いてイギリスとフランスは近いのにお互いの文化をしっかりと守っている例をあげていますので、筆者が小学校高学年で英語を義務教育にする案に危機感を持っていることがわかります。